

## ジョークサロン8月度例会

### つぶやき都々逸

佐藤俊一さん kitami-yosuke@1041sato が #ほぼ日刊都々逸 のタグのもとにツイートしたものです。阿部が8月のツイートから拾いました。

父が逝きわたしを置いてと泣いてた母も9年後のきょうひそと逝く  
(2022年6月23日9時21分)

### ▼酒飲みの大義名分

- 01 どの酒が好き？いまさら聞くな人さまの酒に決まってら  
ーギリシャの樽のなかの哲人ディオゲネス
- 02 酒飲みが皆地獄へ堕ちりゃ天国さびれるいっぽうよ  
ーイスラムの詩人ウマル・ハイヤーム
- 03 失樂園は食べたからだぜ飲んでりゃずっと天国さ  
ーアダムとイブの樂園追放の大叙事詩を描いたジョン・ミルトン
- 04 人がつくった美酒には酔うが神の水では酔えやせぬ  
ービクトル・ユーゴー「神は酒をつくったが……」



### ▼お題「花火」

- 05 夏の夜空に火花を散らす煙火の花道夢舞台
- 06 大江戸の空で開いて舞う番傘に轟屑のあの妓の名が踊る  
\*そんな名入りの傘の花火が、後の落下傘花火のヒントになったんだ  
そうですよ。
- 07 散ってはかない恋のお墓に祈念の線香花火そえ  
\*線香花火はもともとは上向きに立てて火をつけたそうで・・・お墓に  
供える線香と同じですね。

- 08 独り無視（ヒトリムシ）ではさみしいものよ熱く燃えたい業火でも  
\*火取虫（ヒトリムシ）は、夏の夜に灯火を目掛けて集まる虫。主に蛾ですが、火入虫（ヒイリムシ）ともいいますね。飛んで火に入る夏の虫です。
- 09 恋の道行きいざなう炎罨を承知で身をまかせ

#### ▼蝉づくし

- 10 蝉しぐれ背中の皮をあぶられるよに追われ急かされ夏がゆく  
11 生きた証しの絶唱の夏声を限りの蝉ファイナル  
12 恋のお相手おめもじならず影もみんなみーんみんな  
13 ウツクシヨーシうつくし容姿！姫を讃える法師蝉  
\*昔の歌人は「うつくしといふ虫ぞ鳴く」「うつくしよしと蝉の鳴くらん」とうたっています。平安の姫君たちには、法師蝉ツクツクボウシの鳴き声は自身の美貌をほめ讃えるものと聞いていたようなのですね。
- 14 法師蝉わたしの美貌にあこがれ鳴くかウツクシヨシと姫は聴く  
15 姫の美貌を讃嘆しきりウツクシヨーシと親衛隊  
16 姫さまの美貌讃える親衛隊がウツクシヨシの大合唱  
17 奥方怖い亭主の耳にやつくづくほうし（奉仕）と嘆く声  
18 人の世の秋ふりかえりなば”つくづくほうし（奉仕）”の一生よ  
19 ひぐらし（蝸）が鳴けば来る秋その日暮らしじゃあきたらないと泣くわたし  
20 夏の夕ひぐらし（蝸）奏でるトレモロ哀しその日暮しの身にしみて

#### ▼山の日

- 21 不死の山登る勇気を見習いたいねついラクをする中高年  
22 ついらくの恐怖伴う夏山登山ついラクするなら家が良い

#### ▼お題「お盆」

- 23 お盆にはほとけ様さえ戻るといふにきみの心はほどけぬか  
24 なあおまえほとけ様さえお盆にやもどるほとけ心でもどらぬか  
25 お盆によく出る幽霊うたうユーレイユーレイユーレイヒー♪  
26 夏の恋一目ぼれしたひとつ目小僧みつめるだけの三つ目小僧  
\*ひぎの小僧が笑ってる
- 27 盆休み化粧落として振り向く顔がのっぺらぼうに見えた夜  
\*化粧という言葉は”化生のもの”から出たそう。
- 28 墓参り彼岸のほとけに手を合わせたら此岸のほとけとお手合わせ
- 29 甲子園夏の熱闘球児が去れば炎暑残るも秋ざんしょ  
30 あついうちこそゆかいな仲もあきがきてみりゃじきふゆかい